

立秋 8月7日

先日、「夏に鍛える」という題で書かせていただきましたが、暦の上では既に秋ということになります。しかし、暑さは、まだまだ続きそうです。油断は禁物です。加えて台風や天候の急変などにも頭を悩ませています。いつどこで災害が起こるかもしれないというのは、異常事態以外



何者でもありません。特に最近の水に関わる災害で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。本校からも僅かですが、募金させていただきました。一日も早い復興をお祈りいたします。

以下、ウィキペディアからの引用です。

立秋：夏が極まり秋の気配が立ち始める日。

夏至と秋分の中間で、昼夜の長短を基準に季節を区分する場合、この日から立冬の前日までが秋となる。二十四節気が成立した中国内陸部は大陸性気候のためこの時期は気温が下がり始めているが、海に囲まれた日本列島ではピークがずれ込み猛暑の時期となることが多い。翌日からの暑さを「残暑」といい、手紙や文書等の時候の挨拶などで用いられる。また、翌日から暑中見舞いではなく残暑見舞いを出すことになる。

藤原敏行は「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」（古今和歌集）と詠んだ。